



学校だより

わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

N o 24

令和3年12月3日

大木中学校区合同学校運営協議会 開催

11月25日(木)16時30分から、大木中、長太小、箕田小、若松小の各校でリモートによる大木中学校区合同学校運営協議会が開催されました。初めての試みでしたが、各校の委員長さんのあいさつに始まり、スムーズに会が進行されました。大木中学校の新校舎建設について、大木中の校長から新校舎の基本コンセプトについて、鈴鹿市教育委員会教育政策課の澤田副参事から、建設の概要と今後のスケジュールについて説明があり、各委員さんから活発な質問や意見が出されました。また、大木中の教頭からは、「大木中らしさ」を大切にしたい新制服採用についての説明がありました。

新校舎は、今年から着工し令和5年9月から新校舎での授業開始となります。今後、大木中学校新校舎を地域連携のセンター校に、その施設やスペースの有効活用について学校運営協議会で熟議を進めていくことになります。

光太夫太鼓を全校児童に披露しました



12月1日(水)5限目、体育館で2部制をとって5年生が光太夫太鼓を披露しました。5年生は6年生から光太夫太鼓を引き継ぎ、練習に励んでいました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のなか、思うように練習ができないこともありましたが、感染症対策をとりながら地道に努力してきた成果を発揮してくれました。素早いばちさばきで、みごとにそろった、リズムに乗ったすばらしい演奏となりました。この光太夫太鼓の取組を通して、5年生の姿にたくましさを感じました。5年生の子どもたちもやり切った達成感を得ることができたと思います。大黒屋光太夫顕彰会の方々からも「素晴らしかった。昨年度とは違った躍動感がある演奏だった。しっかり伝統を引き継ぎ頑張ってくれました。涙が出そうになりました。」というお言葉をいただきました。全校児童も、「力強い演奏でかっこよかった。」「太鼓の音の強弱がついていてよかった」「きちんとそろっていてきれいだった」などの感想を出していました。



4年 出前授業 伊勢型紙教室

11月30日（火）の5，6限に，4年生が出前授業で，伊勢形紙協同組合の田村さんと藤谷さんを講師としてお迎えして，伊勢型紙をあしらったランプシェードを作りました。4年生の子どもたちは，10月に社会見学で鈴鹿市伝統産業会館を訪れて伊勢型紙のことやその作品の素晴らしさについて学び，実際にしおり作りに取り組んだおかげで，みんな手際よく，器用に彫刻刀を使って型紙を切り抜いていました。出来上がった型紙は，講師



さんにランプシェードの素敵な飾りにしてもらいました。子どもたちは，完成したランプシェードを暗いところで点灯して，その出来栄に満足そうにしていました。是非，家に持って帰って部屋の飾りとして使ってほしいと思います。

1年 出前授業 「どんぐり工作」



11月30日（火）の3，4限に，1年生が落合さんを講師にお迎えして，どんぐりを使った置き物作りをしました。前日に，千代崎漁港近くの公園で拾ってきたどんぐりとまつかさを竹にグルーガンでくっつけて製作しました。まつかさに色づけしたり，どんぐりに目や口を描いたりして，自分なりのデザインを考えました。出来上がった作品は，子どもたちのアイデアや個性が表現されています。作品は，こわれやすいので2学期のあゆみ渡しの時に保護者の方へ持って帰っていただく予定です。



2年 校外学習 ～公民館たんけん～

12月2日（木），2，3限に2年生が校外学習の一環として若松公民館を探検しました。公民館内の図書コーナーや会議室，ホールなどの施設や部屋を見学させていただきました。多目的ホールでコーラスサークルの皆さんと交流をさせてもらい，曲に合わせていっしょにリズム運動をしたり，ドレミの歌を歌ったりしました。学校の音楽の授業と同様に，感染防止のためにマスクとフェイスシールドを着用して活動しました。子どもたちの訪問を楽しみにしていただいていたようで，笑顔あふれる，楽しい交流会となりました。

